

NKの研究開発の概要

一般財団法人 日本海事協会
研究開発推進部

■ 船級独自の課題に関する研究開発

- 海上における人命と財産の安全確保、海洋環境の保全への貢献を目的
- 合理的な技術規則、関連ソフトウェアの開発、技術サービスの拡充等を推進

■ 業界要望による共同研究開発

- 海事産業への貢献を目的
- 広く業界要望に応えた共同研究開発を実施

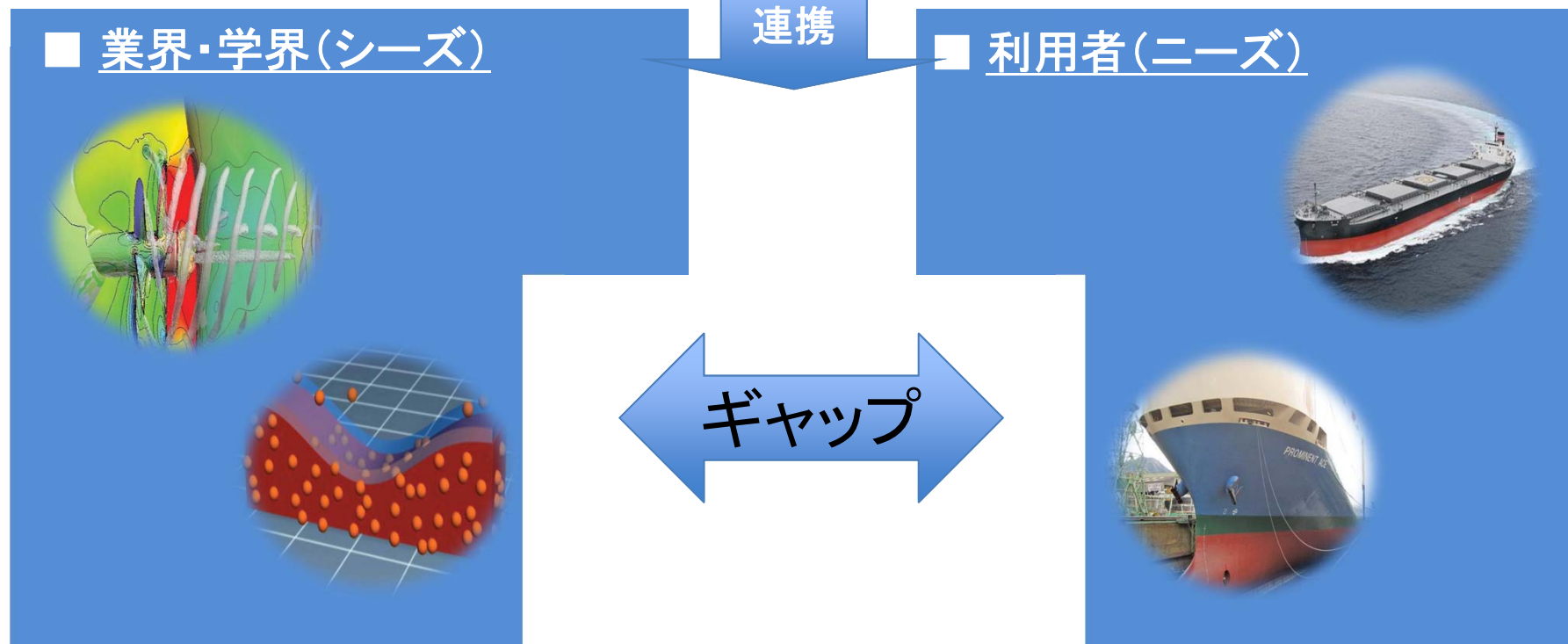
業界要望による共同研究

実用化ニーズとシーズ
にはギャップがあります



NKは政府・関連機関
とも連携し、実用化を
推進・支援します

■ 政府・関係機関



研究開発の体制（皆様との連携）

国内・外の力を結集した”Open Innovation”による研究開発

海事産業



2009 - 2015年

10月末現在

232件

終了

政府



学界



2015年の共同研究案件例

No.	研究テーマ	最終成果	期間
1	SCF詳細業界標準策定に関する研究開発	業界標準の策定	2011年～ 2015年
2	船体直接強度解析のための自動モデリングシステムの研究開発	ソフトウェア	2014年～ 2015年
3	船内LANを適用した高効率航海のためのアプリケーションプラットフォームの開発と国際標準化に関する研究開発	技術の確立	2013年～ 2015年
4	バラスト水管理条約への適合支援 (オペレーションガイドラインの策定)	ガイドライン	2013年～ 2015年

2015年の共同研究案件例

No.	研究テーマ	最終成果	期間
5	複合材料プロペラの研究開発	技術の確立	2012年～ 2015年
6	省エネ付加物性能評価のための検証データベースの構築とCFD解析ガイドラインの策定	技術の確立	2013年～ 2015年
7	半導体レーザ溶接装置とホットワイヤとを組合せた新溶接法の開発	技術の確立	2014年～ 2016年

「業界要望による共同研究」

- 皆様からのご要望を基に、海事業界の発展に貢献するテーマに取り組みます
- 船主、造船所、メーカー等と広く緊密に連携し、実用的な研究開発を促進します



国土交通省による国家プロジェクト

■ 船舶からのCO2削減技術開発支援事業

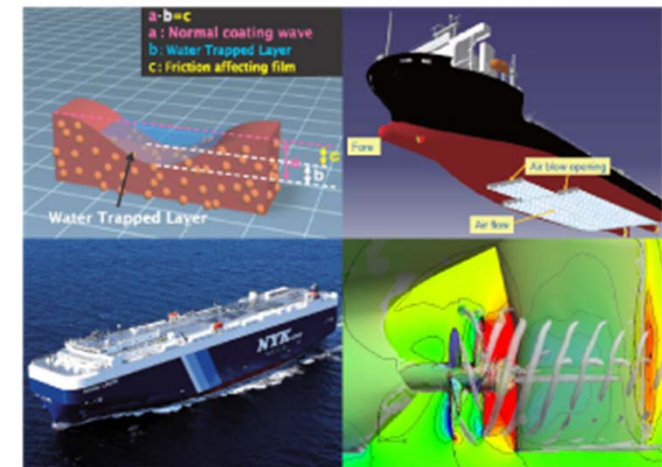
2009～2012年度

■ 次世代海洋環境関連技術開発支援事業

2013年度～ 19件の研究開発案件を実施中

NKは共同研究者として参画し、
船舶・舶用機関・舶用品等に係る
革新的な省エネルギー技術の開発
に貢献します

「船舶からのCO2削減技術開発支援事業」より





最先端の研究を行うとともに、国内外研究機関との連携を通じ、最新情報を発信します

- ・海上技術安全研究所と「船舶及び海洋開発の分野における研究に関する包括的連携協定」を締結
- ・シンガポール海事港湾局 (MPA) と海事研究開発分野における連携の覚書を締結
- ・ミュンヘン工科大学及び九州大学と、天然ガスへの水素混合技術の開発を実施中 等

学協会活動を通じ、団体・技術者を支援します

- ・研究開発成果に関連する論文の発表
- ・学会・学術団体の会報等への投稿
- ・学会・学術団体が開催するセミナー、カンファレンスへの支援、講演、参加



【成果の公表】

- 共同研究成果報告会
- ホームページへの報告書の掲載
- 各種広報誌への記事掲載



【成果の普及】

成果を活用したNKガイドラインの発行や、成果を背景とした国際規格・IACS統一規則への提案などを積極的に実施します

NKは、今後も海事関係者の皆様と
連携して研究開発を進めて参ります

引き続きご支援、ご要望を頂けますよう
お願い申し上げます

